

経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給方法の提供

 タイトル アグリシードファンドの取組みについて J A 名 広島中央（広島県）

1 動機 （経緯）	<p>当 J A 管内には 41 の農事組合法人が設立されており、多くは水稻栽培を中心としています。</p> <p>近年の米価の低下や補助金の減少等は法人経営に大きな影響を与えているため、当 J A では、運転資金および設備投資資金の確保とともに法人の経営基盤である自己資本を増強するための手段の 1 つとしてアグリシードファンドの推進に取組みました。</p>
2 概要	<p>農林中央金庫岡山支店・広島県信連の協力を得て対象者の選定を行うなか、当 J A 管内は昔から清酒造りが盛んで酒米（山田錦）栽培の多くを農事組合法人が担っており、法人経営の大きな柱となっているため、酒米栽培を行っている法人から選定を行いました。選定法人に出向き、J A 担当者によるアグリシードファンドの概略を説明しました。</p>
3 成果 （効果）	<p>2 法人より、詳しく説明を聞きたいとの要望があり、農林中央金庫岡山支店・広島県信連担当者により具体的な説明を行いました。法人内部でも協議された結果、2 法人とも取組むことになりました。</p> <p>ファンド額は合計で 1,250 万円となり、法人経営に大きな影響を与えております。</p>
4 今後の 予定（課題）	<p>当 J A 管内には、農事組合法人のほか株式会社として農業を営んでいる法人も多数あり、株式会社へのファンド実行もしております。今後はさらに経営基盤強化の手段として J A バンク全体でアピールをしていきます。</p>